



2021年 11月5日 金曜日
(令和3年)

知・技の創造

ものづくり大学発

▷72◁

私たち田尻研究室は都市の仕組み作りを通して、人々がお話を頂くことがあります。活力を持って暮らせるまちを創造するお手伝いをしており、都市課題はさまざまありますが、解決への道筋は数多く存在しますが、その土台となる「活力あるまち」の実現においては「働きやすい環境の整備」が鍵であると私たちは考えています。

日本の労働市場では新卒者の早期離職や働く姿勢が問題視されています。私自身も企業の方から「最近の若者はす

の基準軸が確立しておらず、企業側は学生がそのような状況に置かれていることを把握しきれていない、そのような「見える認識の溝」を埋め、企業側は学生と企業との密な接点をつくることを目的とした40日間のインターンシップを行っており、私たち田尻研究室ではこの長期インターンシップを基に、学生の就業意識を醸成する「CPMイン

業後に学生が各役職の「家庭にお邪魔し、育児や仕事との両立、価値観などをヒアリングし、ワークライフバランスとは何かを学生自身で考える機会を与えることを目的としています。意外と家庭でお子さん

田尻 要 建設学科教授

就業からまちを創る

います。とりわけ、オンラインターニップを実施している採用活動が一般化しています。CPMとは「C:キャリアある現在、企業と学生間で十分な接点・理解が得られな

でしようか？ 職場、家庭の片面だけでなく、職場と家庭の両面を見聞きし考えること、研究プロジェクトに基づいてこそ、適切なバランスを見



たり・かなめ 九州大学大学院博士課程、ゼネコンの技術研究所、国立群馬工業高等専門学校助教授を経て2005年より現職。まちづくりに関する調査分析を実施。博士(工学)。

いことでは知らず知らずのうちに「見える溝」を深めている危険性があるのではないで

生就業軸形成と企業理解を